

性的少数者の
家族形成考える

22日、岡山でシンポ

性的少数者(LGBT)の家族形成について考える公開シンポジウム(岡山大学院保健学研究科など主催)が22日午後1時半〜4時半、岡山市北区鹿田町の同大医学部臨床第1講義室で開かれる。

全国養子縁組団体協議会の白井千晶代表理事が、LGBTが家族をつくる上での選択肢として考えられる里親、養子縁組などの事例を紹介。岡山大学院保健学研究科の中塚幹也教授は、LGBTが生殖医療で子どもを持つことに対する当事者や、それ以外の人たちの意識について話す。

女性に生まれながら

男性として生きたいと願う性同一性障害の白井崇来(たかし)さんによる「家族の条件」をテーマにした講話などもある。

無料。申し込み不要。問い合わせは同研究科内事務局(086-235-6538)。